

令和5年度北信越高等学校体育大会

兼第63回北信越高等学校対抗卓球選手権大会

実施要項

- 1 主催 北信越高等学校体育連盟、新潟県高等学校体育連盟
- 2 共催 新潟県教育委員会・(公財)新潟県スポーツ協会・(一社)新潟県卓球連盟・新潟市教育委員会
- 3 後援 新潟市
- 4 主管 新潟県高等学校体育連盟卓球専門部
- 5 期日 令和5年6月17日(土)～18日(日)
- 6 競技日程 6月16日(金) 13:00～ 5県委員長会議
15:00～ 監督会議
16:00～ 開会式(15:45各県指定観客席にて着座)
6月17日(土) 8:40～ 学校対抗決勝、ダブルス2回戦、シングルス1回戦 まで
6月18日(日) 8:40～ シングルス・ダブルス決勝 まで
閉会式
- 7 会場 新潟市東総合スポーツセンター
〒950-0893 新潟県新潟市東区はなみずき3-4-1 TEL 025-272-5150
- 8 競技種目 男女学校対抗・男女ダブルス・男女シングルス
- 9 競技規定
 - (1) 現行の「日本卓球ルール」及び以下を適用する。
 - ア) ゼッケンは(公財)日本卓球協会発行のものとする。
 - イ) 部旗の掲示は200cm×150cm以内のものを1校1枚までとする。
 - (2) 個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
 - ア) アドバイザーの資格は、大会申し込み時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。
 - イ) アドバイザー(1名)は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。但し、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はコートには復帰できない。
 - (3) 日本卓球ルールの中で、特に留意すること。
 - ア) ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解すること。
 - イ) 競技用ユニフォームは、(公財)日本卓球協会発行公認マークの付いたものとし、明らかに異なった色のものを2色以上持参すること。
 - ウ) ラバーをラケット本体に貼る場合に使用できる接着剤は(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとし、必ず指定した場所で使用すること。
 - エ) タイムアウト制は、学校対抗で採用し、個人戦では準々決勝以上において採用する。
 - (4) 試合前の練習は3本以内または1分以内の短い方とし、ゲーム間の休憩は、1分以内とする。
- 10 競技方法 全国高等学校総合体育大会卓球競技要項に準ずる。

11 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し、各県における規定があり、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- (3) 監督は必ず(公財)日本卓球協会発行の役職者章を付けること。

12 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中・留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、北信越5県各県高体連に加盟している生徒で、当該種目の大会実施要項により大会参加資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は、平成16年(2004年)4月2日以降に生まれた者とする、但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。
 - ア) 「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。※ベンチに入ることは「出場」とみなす。
 - イ) 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は原則として認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り、合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満(水泳は1年)のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)
但し、一家転住などやむを得ない場合は各県高体連会長の認可があればこの限りでない。大会開始前のエントリー変更期限前に6ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合は、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 参加する生徒は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高体連会長の承認を受けなければならない。
- (8) 参加資格の特例
 - ア) 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高体連会長が推薦した生徒について、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に従い大会参加を認める。
 - イ) 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。
- (9) 本年度(公財)日本卓球協会に登録された者であること。

13 参加制限 各県の予選を通過した下表の通りとする。

	新潟		福井		石川		富山		長野		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
学校対抗	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	16	16
ダブルス	8	8	6	6	6	6	6	6	6	6	32	32
シングルス	14	16	12	12	14	12	12	12	12	12	64	64

14 使用球 VICTAS、ニッタク、タマスの公認球（40mmの白球）を使用する。

VICTAS : VP40+3スター

ニッタク : 3スタープレミアムクリーン

タマス : バタフライ 3スターボールR40+

15 参加料 学校対抗（1チームあたり） 20,000円

個人戦（1人あたり） 2,000円

16 申込方法

（1）各校は以下のものを、各県の指定日までに各県委員長へ申し込む。

（ア）大会参加申込書 （イ）参加料 （ウ）宿泊申込書のコピー

（2）各県委員長は、以下のものをまとめて申込期日までに申し込むこと。

（ア）選手一覧表等 （イ）大会参加申込書 （ウ）大会参加料 （エ）宿泊申込書のコピー

（オ）参加料送金一覧表

17 申込締切 各県の予選が終了次第、下記〆切を厳守して関係書類・参加料等を申し込むこと。

■申込〆切

各県委員長宛締切 6月 6日（火）必着

主管県宛締切 6月 7日（水）必着

18 申込先

（1）郵送先

学校長印、高体連会長印等が捺印された正式な申込み関係書類は、下記まで書留速達郵便で郵送すること。

■郵送先

〒951-8131 新潟県新潟市白山浦2丁目68の2

新潟県立新潟商業高等学校 松本 滋 宛

TEL 025-266-0101 FAX 025-230-4751

（2）メールによる事前連絡について

「16 申込方法」の申込書類のうち、選手一覧表・学校対抗トーナメント表・個人戦トーナメント表等の連絡票については、県大会予選終了後参加選手が確定した時点で、事前にメールで下記あて送付してください。

■送信先

Email : matsumoto.shigeru@nein.ed.jp

FAX : 025-230-4751 (新潟商業高等学校 松本 滋 宛)

(3) 参加料の振込先

参加料は下記口座へ振り込み、手数料は各県でご負担願います。

■指定口座

第四北越銀行 白山支店 普通口座 1688023

新潟県高等学校体育連盟 卓球専門部 部長 須戸 修 宛

19 宿 泊

- (1) 大会参加者は、必ず別紙「宿泊・弁当申込書」に必要事項を記入し、宿泊要項記載の申込先へ申し込み、コピーを各県委員長にご提出ください。
- (2) 宿泊料：1人1泊2食税込 10,000円(弁当代880円は別途)
- (3) 宿泊は大会本部幹旋の宿舎を必ず利用すること。

20 その他

- (1) 申込締切以後、学校対抗の選手変更は、原則として認めない。やむを得ず選手変更をしなければならない場合は、5県委員長会議開始前に学校長名(捺印)の変更届を当該委員長に提出すること。
- (2) 不可抗力の場合を除き、無断で大会を棄権した者は、次の大会の出場を停止させる。棄権する場合は、大会前に所属学校長名で理由説明書(様式自由)を各県の委員長に提出すること。
- (3) 6月16日(金)は12:00~15:30まで大会会場での練習を認める。開会式後の練習は認めない。
- (4) 配宿決定後の宿泊人数・泊数・弁当数の変更はすべてにおいて 日本旅行株式会社へ速やかに連絡するとともに、各県委員長にも報告すること。
- (5) 各種目とも3位までを表彰する。
- (6) 新型コロナウイルスの蔓延状況を鑑みて無観客とする場合もある。開催時の状況を鑑みて、諸連絡で各県委員長を通じて連絡する。

■連絡・問い合わせ先

〒951-8131 新潟県新潟市白山浦2-68-2

新潟県立新潟商業高等学校 松本 滋 宛

TEL 025-266-0101

FAX 025-230-4751